

夕刊 いわき民報

郵便番号 970
いわき市平字田町63-7
いわき民報社
振替口座(郡山) 970
本社 0246 1666
支社 0246 3560
小常 0246 2380
支局 0246 2903



イワシ大漁

小名浜港 サンマに代わって
二十四日朝の小名浜港はイワシのマイワシと水揚げ
が大盛況。巻網船七隻が四百四十
一、二千二百四十以上の水揚げ

サンマも凶作

秋の味覚、まだ水揚げなし

早くて来月初めごろ?

北海道はジャミばかり

サンマの南下が遅れている。例年、九月上旬にはわきの港にも水揚げされ、秋の味覚として出回っていたが、今年はずいぶん遅い。北海道沖などでは例年と同様に不漁の予報を裏切るといって、昨年以上に水揚げされたが、これもシケ後は少ない。まだ、これまで道沖に引かれたサンマは冬生まれのためか、魚体も異常に小さく、鮮魚としての出荷はわずか、六〇%以下が産出だといふ。

今年の初水揚げは12日

県水産試験場によると、昨年は一回だけで合わせて三百三十三、百五十三、終極まで県内だけで、県のトップを叩いて九月十二日、が各漁港へ揚げられた。続いて十月四日、百五十九が水揚げされて、一月がピークとなり、続々、二千二百



月まで漁場が形成されてきた。地元漁船が操業したところ、八月だけで一万四千四百を水揚げした。昨年同様に二万四千四百しかとれたが、不漁年の今年は八千も多かった。

いわきから80隻出漁

台風17号以来さっぱり

だが、量としては回っていたものの、型はジャミ、と言われ、ほとんど小さく、十一、十八、昨年は二十三、二十八の中型が主体だった。今年については、同試験場などは、北上して来たばかりの冬生まれのサンマで、成長しないうちに操業してしまつたのではないかと話している。

蔓終え豊作のイナゴ捕り

〇：抜けるような青空となった彼岸の中、蔓終えをすませた家族連れ、海・山の行楽地は、久しぶりに活況を見せた。〇：異常気象不作の心配が強い稲田だが、それとはうらはらにイナゴが大豊作。色つき始めたばかりの田園地帯で、ナイロン袋を片手にイナゴ捕りをやる者が、あちこちで目立った。〇：イナゴを知らない子供達は、お母さんの手助けでおつかひつくりで捕っていたが、赤トンボが空に舞い、秋は本番。

信頼できる
メガネの専門店

福島県眼科医会
推奨店

眼鏡の松本

いわき市平字二町目 電03851

が、話している。このため、気仙沼港などでは揚げられたものの六〇%を産出用ひきき手物へ三、四、マズ口のイサなどへ六、六、鮮魚としてはずかしく二割前後にしかならず、嘆息している。

今年、今年八月十日の解禁と同時に、同月末ごろには、いわきから八十隻が北海道沖やエトロフ沖の漁場を目指して母港を後にし、ジャミサンマの操業を続けていた。

いわき抄

山形の高冷地は手痛、打撃を被ったよう。稲作技術が非常に発達した人々の目には、万葉集が当たり前に思っていたところ、今年も冷夏がたつて無残にも凶作となった。陸上がさういふときは海でも同じ傾向を示すことがある。今年はいわきでいかにサンマが取れない。

旬、遅ければ中旬になってしまふ。三陸沖へ南下してゆくサンマは道沖でとれた冬生まれのものではなく、春生まれとみられているため、魚体は比較的育ち、悪くても中型・小まじりとなり、ますますのサンマとなりそうだと話しているが、遅れる原因は産地がつかないといふ。

ご婚約に
ワタナベの指輪
をどうぞ!

現地買付け運輸入のダイヤ
サファイア、エメラルドを各
種取りそろえました

宝石/時計/メガネ

ワタナベ

銀座店/平・田町/平野ビル店/3階/湯本店/天王崎/稲田店/台町通り/ヨーカー/稲田店/3階

石張りのテラス

樹の多すぎる庭のすみは
どうしても暗くなりがち
そんな時に、楽しい石張りの
テラスを作るのもいいものです。

鉄平石などを、あまり形を
整えすぎないように敷き、
ポイントに石や木を植え
明るい楽しい空間を
作って見ませんか?
庭が広く感じられます。

造園設計施工監理 ● 賞植木

山一植物園

いわき市内郷小島田花輪9 26-3061

